

男女共同参画社会

Vol.4 学校編

ジェンダーチェック！

次のように思うことはありませんか？

- 男の子はたくましく、女の子はおしとやかになるように教育すべきだ。
- 学校の行事に母親が出席する場合でも、保護者名は父親の名前にする。
- サッカーや野球は男の子のスポーツだ。

■ジェンダー（社会的性別）とは…

社会的、文化的につくられた「男らしさ」「女らしさ」などのことをいいます。



あなたのジェンダー意識はどうでしたか？

男女共同参画社会をつかっていくためには、大人だけでなく次代を担う子どもたちに、ジェンダー意識を抱かせない教育が必要です。学校教育の場では、男女という性別にとらわれず、子ども一人ひとりの個性と能力を重視し、伸ばしていく取り組みを行っています。性別にかかわらず自分のよさを伸ばしていこうとする態度を育み、自信をもって行動できるような働きかけをしていくことが、子どもたちのジェンダー意識へとつながっていくのではないのでしょうか。子どもと接するときには、いつも男女平等、そして、男の子・女の子ではなくそれぞれをひとりの人として見るよう、ジェンダーにとらわれない心がけを大切にしていきたいと思います。

●問い合わせ先

総合政策課
☎(40)55550

防災メモ

震災に備えて シリーズ⑤

今月は、もし屋外にいたときに地震があったときの対応です。

仕事の帰り、旅行中、電車や自動車に乗っているときなど、いろいろな場所で災害にあうことが考えられます。まずは落ち着いて周りの状況を確認し対処方法を考えましょう。

身の回りの危険はなにが

周りに高い建物があるときは割れたガラス等の落下に注意しましょう。マンションなどでもベランダの植木鉢が落下することがあります。

海が近い所にいたときは防災放送やニュースを確認しましょう。津波のおそれがあります。

原則、避難に車は使用しないでください。倒れた電柱や塀などがあり通行できません。また道をふさいでしまうため、救急車や消防自動車などが間に合わないおそれがあります。

●問い合わせ先

生活安全課
☎(40)55555

●屋外にいるときは…

歩いているとき

- 建物からの落下物に注意。バッグなどを持っていたら、それで頭部を保護する。
- 狭い路地やブロック塀、川べりには近づかない。
- 橋や歩道橋の上にいるときは、手すりや柵にしっかりとつかまり、振り落とされないようにする。また、橋は倒壊のおそれがあるので、揺れがおさまったら即座にその場を離れること。
- 切れた電線には、決して触らないこと。



車を運転しているとき

- 徐々に速度を落とし、道路の左側に寄せてエンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで車外に出ず、ラジオで情報を聞く。
- 車外に出るときは、ロックせずにキーは付けたまま。
- 車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難を。

